

令和元年11月10日執行  
**福島県議会議員一般選挙選挙公報**  
 福島県選挙管理委員会



にしやま  
 なおとし  
**尚利**

子どもたちがすくすく育ち、  
 若者が夢を持って生ききるまち、  
 お年寄りが安心して暮らせるまち

日本一、「住んでよかった」  
 「生まれてよかった」  
**福島を創ります。**

- にしやま尚利のお約束**
- ① 活気あふれる県都を創ります。
  - ② 未来を担う子供たちを、しっかりと守り育てます。
  - ③ 全国に誇れる農業県・福島の再生を図ります。
  - ④ 健康長寿県・福島を育てます。
  - ⑤ 充実・安心の医療体制を整えます。



にしやま尚利プロフィール  
 1965年(昭和40年)2月26日  
 土湯温泉町に生まれる。土湯の人情豊かな温泉町で幼少期を過ごす。実家はラーメン屋。

昭和8年5月帰郷。白河にて代議士の秘書として政治の基礎を学ぶ。平成11年福島市議会議員(1期)、平成15年福島県議会議員(3期)を務める。  
 両親、妻、子供3人(16才・13才・11才)と7人暮らし。  
 趣味 スポーツ、詩吟、阿波踊り  
 座右の銘 未見の我



トモナガ  
 しげお  
**拓**  
 自民党公認 48歳

**ふるさと守り八策**

- 台風19号 災害復興 防災強靱化 県民の命を守るきめ細かな施策
- 福島大 福医大等との 連携活性化!
- 動物愛護政策 などを通じた命の 政治を推進!
- ふくしま松川 スマートICの 本格化
- 福島から、 児童虐待を無くす 枠組みを確立!
- 障がい者 福祉の変革 「障害」も「チガイ」と捉えて 尊重できるカッコいいと 言える社会
- 農業MBA(経営学) プログラムの創設! 「ふるさとを守る」ために、 農業者が経営感覚を身につけ、 先人の開墾により得られた 田畑を活用し、農業が雇用を 見込める産業化
- イノシシ被害は、 災害です! 田畑を守り、 里山保全策などを進め ヒトとイノシシの共生を 図る施策実現

主なプロフィール  
 昭和46年10月26日(48歳)  
 福島県福島市松川町生まれ  
 家族：妻、義母、愛犬のそら  
 ◎ 福島県議会議員(現職2期)  
 ◎ 株式会社フアーム代表取締役  
 ○ 福島市立松川小学校卒業  
 ○ 福島市立松川中学校卒業  
 ○ 福島県立福島高等学校卒業  
 ○ 慶應義塾大学法学部乙類(通信課程)卒業  
 ○ 慶應義塾大学法学部乙類(通信課程)MBA修了  
 ○ 調律師  
 ○ 福島市議会議員(2期8年)

困っている人をほっておけない——市議・県議36年、宮本しづえ

被災者救援・復旧へ全力 **いのちを守る県政、全国原発ゼロを**

日本共産党 **宮本しづえ**

- 全壊・半壊一部損壊へもつと支援を 河川改修や遊水池増設を
- 台風で被災されたみなさまへ、心よりお見舞い申し上げます。  
 「3年間で2300億円のイノベ 構想より、年80億円で可能な消防 職員1千人増員を」——災害に強い、いのちを守る県政へ全力をあげます。
- 全国1位 県民1人財政規模をいかに くらべて希望と安心を
- 県内過半数こえる32自治体で補助 学校給食費を 無料に (県予算の0.6%で可能)
- 子どもの均等割なくし(2000円) 国保税引き下げを
- 若者や低所得者が住む賃貸住宅へ 月最大4万円の家賃補助を
- 国・県が中小企業を 支援して **最低賃金は 今すぐ1000円以上**
- 70歳からシルバーパスを お年寄りのタクシー代に補助を
- 消費税10%の自公政権にノーを **5%減税で景気回復を**
- 安倍政権に代わる野党連合政権を シェンダー平等社会の実現を

略歴▶1952年生まれ。県立総合衛生学院看護学科卒。●看護師。●福島市議7期、県議2期。▶事務所 福島市渡利川岸町30-1 電話024-572-6772

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

令和元年11月10日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

台風被害からの復旧・復興に全力で対応します

## 子どもの未来を守る

地域で子どもを育て元気に学べる環境づくりの醸成。子どもたちの心ケアのために、スクールカウンセラー相談体制の充実に努めます。ひとり親家庭の学習・健康管理を相談できる体制づくり。

## 観光・農業立県

フルーツラインを充実させ、「ブランド化」。これに飯坂、土湯、高湯温泉を融合させて「ふくしまの魅力と実の力」として全国に発信。福島県が中高生の就学旅行先、海外からの留学先となる「観光立県」を目指します。

## 福祉・医療の再構築

県民が等しく医療や福祉サービスを利用できる環境整備を目指します。医師や看護師などの医療従事者の確保と地域医療の担い手である介護士の育成や継続従事の実現に力を入れます。発達障がい児や認知症の方を支援する仕組みを充実させます。

**「おおばの目指すもの」**  
福島で、安心して安全に暮らせる環境をつくること。原子力災害の教訓を生かし、誇りを持って暮らせる新しい福島県をつくること。  
震災から8年余、県民の皆様の頑張りによって福島県は復興の道をしっかりと歩んでいます。かつて東京は関東大震災から「人づくり」で見事に復興し、世界の大都市になりました。  
福島もきつとそうなる。子どもたちに対する教育の充実こそが、新しい福島をつくる「人づくり」に繋がるのです。  
NPO活動で培った「おおばの人づくり」を県政に役立てたい！  
福島の子どもの未来を守るために皆様とともに素晴らしさを実感すると福島をおおば秀樹は、実現するまで言い続け、行動し続けます。



おおば秀樹  
国民民主党

- 昭和44年11月7日生まれ 49歳
  - 駒沢大学大学院経営学修士課程修了
  - 松下政経塾員 ●福島市議会議員
  - 参議院議員金子恵美 公設第一秘書
  - 福島リパティライオンズクラブ会長
- 妻・康子（旧姓 上野）福島市出身（済生会福島総合病院 薬剤師）
- NPO法人子ども未来クラブ理事長
  - FMポコラジオパーソナリティー
  - UAゼンセン福島県支部政治顧問
  - 福島市消防団第16分団機関員

## 働く人が報われる社会と、県民生活の向上を目指します！

**PROFILE**

**経歴**

- 県立安達高校卒
- 日本電信電話公社入社
- NTT労働組合福島県支部（現NTT東日本）
- NTT労働組合福島県支部
- 花園直轄分会長
- 連合福島・福島地区連合会副議長
- 南台小学校PTA会長

**現職**

- 渡利中学校PTA会長
- 福島市PTA会長
- 福島市PTA連合会副会長
- 福島県議会議員(3期)
- 立憲民主党福島県連 幹事長
- 福島大学経済経営学類後援会役員

### 立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

**政策**

**「復興・創生」の着実な実行**

- 東日本大震災からの着実な復興と原発事故からの克服。
- 県民に寄り添い、誰もが心豊かに明るく暮らせる魅力ある福島県の創造。
- 観光振興、イノベーション推進により、新たな福島の創造

**「安全で安心な福島」の創造**

- 医療・福祉の充実、教育の環境整備、待機児童の解消の実現。
- 原発に依存しない再生可能エネルギーの推進と、防災、減災による安心・安全な県づくり。
- 平和国憲法の堅持、ノーマライゼーションの推進、多様性を認め合うやさしい社会の確立。

**「人口減少対策」の充実**

- 子ども達の健康管理体制の充実と教育環境の更なる整備、出産、育児しやすい環境の構築。
- 高齢者が健康で生きがいもてる社会の推進。
- 働き方改革や、働く人たちの環境整備の構築。

**「豊かな自然・ふくしま」の魅力**

- ふくしまの豊かな自然の保持と、魅力あるふくしまの国内外への発信。
- 人や自然環境にやさしい、ふくしまの創造。
- 鳥獣被害の減少に努め、農林業の発展の推進。

**「地方活性化」の推進**

- 地方分権の確立と、透明性のある公正な社会の実現。
- 地域経済の充実と雇用の確保に努め、豊かで活気ある地域の確立。
- 保育士、幼稚園教諭、教職員、福祉従事者の処遇改善の実現。

福島未来を切り拓く!!



立憲民主党公認  
高橋秀樹  
54才

数々の現場で取材 元・新聞記者

報道の経験を県政へ

# 渡辺てつや

## 挑戦する4つの事



**安心して子どもを育てられる福島をつくります**

2人の娘のお父さんです。福島の子どもたちが元気に希望を持って育ち、その子どもたちが安心して育てられる環境をつくります。

**世界に誇れる福島ブランドを発信します**

20年間の記者生活を通じて、食や温泉など福島の素晴らしさを実感してきました。そのブランドを日本に、そして世界に届ける環境をつくります。

**高齢者が安心して安全に暮らせる福島をつくります**

父母は70代、健康を気にする世代です。シルバー世代は地域の活力の源です。高齢者が生き生きと健康に暮らせる地域づくりに取り組みます。

**地域を支える農商工・観光のネットワークをつくります**

祖父はモモ農家を営み、父は町工場を営んでいます。地域社会のそれぞれの分野で懸命に働く皆さんとの間に絆をつくり、地域活性化につなげます。

**プロフィール**

名前 渡辺 哲也（わたなべてつや）

平成7年3月 学法福島高等学校卒業

平成11年3月 福島大学経済学部卒業

平成11年4月 福島民友新聞社入社

・H23「福島原発-災害連鎖3.11から」の連載を担当

平成27年3月 いわき支社報道部長

平成29年4月～平成31年3月 報道部次長(県政キャップ)



自由民主党公認  
て渡辺つや  
43歳

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

令和元年11月10日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

## いのち 福島<sup>いのち</sup>の生命を守る!



### 防災・減災のいとう達也

【出生】1970年10月5日福島県伊達市保原町生まれ  
 【学歴】上保原小学校・保原中学校・県立福島高校・創価大学法学部法律学科卒業  
 【経歴】大東証券(現みずほ証券)を経て、衆議院議員田端正広 公設第二秘書・同第一秘書・衆議院議員竹内譲 政策担当秘書として国会で20年間活躍  
 ■2015年11月福島県議会議員初当選  
 ■公明党福島県議団政調会長 ■公明党福島県本部幹事長代行 ◆県議会土木副委員長  
 《趣味》読書(歴史小説)  
 《特技》剣道初段・アーチェリー  
 《家族構成》妻と一男一女・犬2匹

現行の消防防災ヘリが更新時期を迎えることから、国が7割負担する制度の延長を働きかけ、強風下でも運行可能な自動操縦機能付きの新型機への切り替えを提案。2019年度中の更新が決定した。災害発災時、知事が遠隔地からでも陣頭指揮が執れるテレビ会議システムを導入。令和元年台風19号対応で運用。

TEL:024-572-7414 / FAX:024-572-7415

〒960-8003 福島市森合字北向12-6 E-mail:t-ito@aa.cyberhome.ne.jp



いとう達也  
 たつや 49歳  
 公明党

## 全力、ふくしま創生! もっといいふくしまの未来へ。



#### プロフィール

1966年8月14日 福島市生まれ  
 青山学院大学国際政治経済学部卒、オランダ エラスムス大学経営修士課程修了  
 元福島第一小学校PTA会長  
 元福島高校PTA副会長  
 ◆議員歴  
 福島市議会議員(一期)  
 福島県議会議員(二期)  
 ◆主な役職  
 【福島県議会】  
 商労文教委員長、企画環境副委員長  
 福祉公安副委員長  
 【自由民主党福島県支部連合会】  
 党紀委員長、副幹事長  
 政務調査会副会長

自由民主党  
 まさひろ 佐藤 53歳

#### 📖 教育力アップ

- 子どもたちが世界で輝くことのできる力をつくる。
- 子育てをしたくなるふくしまをつくるために。

#### 🏥 安心力アップ

- 安全で質の高い医療サービスが受けられるために。
- 安心していきいきと活躍できるために。

#### 🏭 産業力アップ

- 地域の農業やものづくりが大きく力をつけるために。
- 経済や人の流れの好循環をつくるために。

#### 🏘️ 地域力アップ

- みんなで出かけたくなる福島の街なかのために。
- 安心安全に生活できる環境づくり

### 台風19号被害からの早期復興と対策の見直しと強化

主役はみなさんです! 皆さんが輝く街へ。福島<sup>いのち</sup>の価値と競争力を作り出しましょう!

各投票所の投票できる時間は、次のとおりです。

#### ■当日投票所

福島市選挙区全投票所

7:00 から 20:00 まで

#### ■期日前投票所、不在者投票所

原則として

8:30 から 20:00 まで

※ 一部、異なる場合があります。

詳しくは、福島市選挙管理委員会にお問い合わせください。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。

候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

令和元年11月10日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

## 「未来への責任 ふくしまの新時代を拓く！」

### 【プロフィール】

1975(昭和50)年3月18日生まれ(福島市本内在住)  
福島市議会議員 2011年7月～2019年7月 2期8年

福島県立福島高等学校  
日本大学法学部  
大和証券株式会社  
(現)社会福祉法人ゆかり福祉会  
TOKYO自民党政経塾1期生



(現)福島県高等学校PTA連合会 会長  
(現)福島県立福島高等学校PTA会長  
(現)福島市立福島第三中学校PTA会長  
公益社団法人福島青年会議所 OB会員  
地元消防団員

### 「豊かなふくしま」の軸にあるべきもの

- 開かれた福島県政、県議会、議員のすがた
- 県都福島市を中心としたさらなる県の発展

**5 環境**  
心身ともに安全安心な  
生活環境を充実させる。

**4 人材**  
未来を担う子どもたちの  
学力を伸ばす体制を整える。

**3 経済**  
雇用と賃金を守り、  
若者が働きたい場所を増やす。

**2 観光**  
豊かな自然と文化を生かした  
観光都市に発展させる。

**1 暮らし**  
誰もが健やかな毎日を  
過ごせるふくしまを創る。

「復興・創生の加速」  
**5つの改革視点**



自由民主党公認  
**ほんだ**  
のりたか 憲孝



NEXT  
いざ、県政。

【私の思い】生まれ育ったふくしまをより暮らしやすい場所にする責任がある。



ながひと  
**こんの**  
長人 社民党公認

### ▼憲法をくらしに

憲法をくらしにいかし、県政の主人公は常に  
県民であることを基本に県議会にのぞみます。

### ▼医療と介護の充実

県独自の福祉予算を拡充し、医療・介護体制の  
充実と、そこに働く皆さんの待遇改善に力を  
つくします。

### ▼子育てと仕事の両立

教育予算の拡充と、保育士の待遇改善や放課  
後児童クラブの充実で、子育てをしながら安  
心して働き続けられる地域社会をつくります。

### ▼くらし密着型の予算

通院や買い物のための地域交通の確保など、  
くらし密着型の予算編成に変えていきます。

### ▼農業と中小企業を守る

農業と中小企業政策を充実し、若者の県外流  
出を止め、人口減少にブレーキをかけます。

### ▼再エネ推進と脱原発

原発のない社会をめざし、再生可能エネル  
ギーの推進を加速します。

### ▼自治体の人員体制

福祉施策や災害対応など、くらしの安心と安  
全を担う自治体の人員体制を充実します。

## 福島県議会議員一般選挙

# 投票日

# 11月10日(日)

福島県選挙管理委員会・  
福島県明るい選挙推進協議会



この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。  
候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。